

オン タイム 音time

野畑小学校 音楽室より

2021.12.6

No.9

11月25日(木) 音楽交流会(5年生→6年生)

◎5年生ふりかえりから

- ・朝だから声が出るか不安だったけど、みんなが歌っているのを聞いてると自然と声が出るようになってきて、とても楽しかった。
- ・歌のはじめの「ま」をしっかり言えてよかったです。
- ・周りの人たちにまかせてはだめだと思っていたので、全力を出せてよかったです。
- ・6年生がしっかり聞いてくれたので、6年生が歌う時こっちがしっかり聞くまでが音楽交流会だと思った。
- ・今までで一番歌った後に歌い切ったという気持ちが強かった。6年生がいて緊張したけど、野球の監督が言っている「緊張よりも集中が上!」という言葉思い出してがんばった。
- ・私は全て出し切りました。後悔のないようにしました。とても気持ちよくて楽しかったです。
- ・5年間小学校に通って、今までで一番上手だと思った。6年生になったらもっと上手になりたいです。
- ・大声だときれいに歌えなくて、小さいと聞こえない。けどその真ん中くらいで歌えた。
- ・精一杯今出せる自分を出すことで自分の自信になると思う。だから精一杯悔いのないように物事を進めるということはすごく大切だと思いました。悔いのないように歌えてよかったです!
- ・いつか必ず花は咲く!歌も練習した分キレイになるという思いをこめて歌ったから気持ちよかった。
- ・6年生が真剣に聞いてくれたから歌いやすかった。さすが最高学年だと思った。
- ・6年生の感想があたたかかったです。5年生のほめことばの木がどうなるか楽しみです。
- ・とても寒くて歌えるか不安だったけど、腹式呼吸や運動で体が温まって声を出せた。
- ・歌っていてすごく気持ちよかった。来年はもっときれいに歌って、合奏も団結力のあるものにしたい。
- ・緊張しすぎて声が小さくなってしまったけど、2番からは緊張がなくなってきた。きれいにハモれた。
- ・みんな練習の時よりも気合が入っていたし声も出ていた。「叶えたい夢もあった」がふわっと言えた。
- ・みんなで声を合わせるととてもキレイで、パワーのある歌声になってとても気持ちよかった。
- ・息を吸う所を合わせられたのを6年生がほめてくれてうれしかったです。
- ・後ろの列だったから、歌っている時みんなの後姿が見えて、自然にゆれている人が多かった。

さすが高学年!という歌声でした。声量◎!美しさ◎!姿勢◎!よくがんばったね!

ふりかえりでは、自分たちがのこだけでなく、6年生の鑑賞態度のことや、次回の交流会(6年生発表)のこを見据えたコメントもあり、高学年の余裕を感じました。5年生のこれからが楽しみです!

ほめことばの木(各学年の感想)から

- ・うたごえがきれいだった。(1年生) ・めっちゃかっこよかった。(1年生)
- ・オンラインなのに心までとどいた。(2年生)
- ・声がそろってとてもきれいでした。もう一回聞きたいです。(2年生)
- ・歌声がとてもとてもきれいでした。次歌う時は5年生の歌声をまねして歌ってみます。(3年生)
- ・すごくきれいにハモれていました。わたしもこんなきれいな歌声の5年生になりたいです。(4年生)
- ・コロナ等の影響で練習が少なくなっているのに、あんなにきれいな歌声を出し、全員で合わせることができてすごいいと思った。(6年生)
- ・マスクごしなのに口がちゃんと動いているのがわかってすごいいと思いました。(6年生)
- ・朝早くなのに大きな声で、しかも息つぎのところがみんなぴたりでとても感動しました。(6年生)
- ・サビの部分で声が大きくなったところが本当に感動して泣きそうになりました。(6年生)



W. D. H~わりと どうでもいい はなし~ ガラケーの話

10年前の今頃、私はまだガラケーを使っていました。ガラパゴスケータイです。ぱかぱかするやつです。数年前にiphoneが発売され、後を追うように様々な企業がいわゆるスマートフォンを販売し始め、世の中はスマホブームでした。みんなと同じことはしたくない、若干こじらせ気味だった私は、そんなスマホブームの荒波にひたすら逆らいながら、半分意地でガラケーを使い続けていました。それはもう、どれだけ周りがスマホに乗り換えようが俺は一生ガラケーでいくねんくらいの確固たる覚悟で。

そんなある日、私は携帯電話をトイレに落としました。トイレの床の上ではなく、便器の水の中です。これにより、クリア・2・5・8・0という真ん中縦一列のボタンが全て使用不能になりました。スピーカーもいかれたらしく、電話をすると相手の声は聞こえるのですが、自分の声がまったく相手に届きません。メールはかろうじてできるのですが、か行な行や行わ行が使えないのでまったくもって文章になりません。お話にならないとは正にこのことです。

Hip-hop等でよく使われる音楽の手法で、「サンプリング」というものがあります。既存の楽曲の一部を切り貼りし、新しい曲に使うやり方です。どうしても返さないといけないメールなどは、過去の送受信メールの文章から使いたい情報を抽出し、それを組み合わせて新しい文章を作りました。メールのサンプリングです。少々雑ですが、これで用件は相手に伝わる形になります。

しかし私はこだわりの強い人間なので、接続詞や微妙な語尾の言い回しなど、さらに細かい情報にも気を配ります。「ブレイクビーツ」という音楽の手法があります。既存曲のドラムのリズムを分解し、パズルのように切り貼りして音楽を組み立てるやり方のことです。メールボックスにストックされている、元となる文章を一・二文字という小さな単位に分解、それを細かなコピー&ペーストのもと再構築し、国語的文法的にもきちんと意味の伝わる文章に組み立て直します。これがメールのブレイクビーツです。

2日で嫌になってスマホに買い換えました。